

## Topics

### 産業技術総合研究所第3期中期計画がスタート

#### 所長挨拶

自らの意思で生がいを持って日常生活を営むことができる「健康」を維持することは、少子高齢化が進む日本国民の大きな関心事です。さらに新成長戦略では、医療・介護・健康関連産業が成長牽引産業と位置づけられ、健康維持にかかる技術開発および健康関連産業振興の重要性がますます増大しています。

産業技術総合研究所は本年度第3期に移行しましたが、その中期計画においても経済と環境を両立する「グリーン・イノベーション」とともに、国民生活向上のための「ライフ・イノベーション」の推進を掲げています。

このような背景から、産業技術総合研究所はこれまで培ってきた健康関連の研究資源を基礎に、新たな健康関連産業創出に貢献するために「健康工学研究部門」創設しました。疾病の発症を直前で予防できる疾患予知診断技術、生活圏におけるリスク解析・除去技術、組織・細胞機能を再生・代替できるデバイス、細胞機能の計測・操作技術、ヒト機能の高精度計測にもとづく人間と適合性の高い機器などの開発を使命とし、拠点のある四国センターと関西センターが一体となって、健康維持管理にかかわる工学的研究に取り組みます。

中期計画は、加えて、地域活性化の中核としての機能強化を謳っています。四国センターは、先端的なバイオ技術とテクノロジー、材料やシステム開発技術の融合によるこれら健康工学の研究成果が、地域産業界に活用され、新たな産業分野進出の一助となるよう、「健康ものづくり」として積極的に発信、提案してまいります。また、四国の経済界や産業界、大学や公設試験研究機関などの産学官連携に努めるとともに、全国に展開する産業技術総合研究所との結節点の役割を担い、四国の産業・社会の発展をめざします。

皆様の一層のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

四国センター所長 三木啓司

<http://unit.aist.go.jp/shikoku/greeting/index.html>

## ニュース

### 産総研イノベーションスクール(ポスドク)の募集を開始しました

- 企業研修を通じた、産・学・独で活躍できる博士人材の育成事業 -

産業技術総合研究所(産総研)ではポスドクとして雇用した若手博士人材が、産総研の研究プロジェクトに参加するだけでなく、特別に用意した研修を受ける「産総研イノベーションスクール」を開校しています。「産総研イノベーションスクール」は、若手博士人材が専門分野について高度な知見を有しつつ、より広い視野を持ち、異なる分野の専門家と協力するコミュニケーション能力や協調性を獲得して、産業界をはじめとした社会の幅広い分野で活躍することを目指した事業です。スクールのカリキュラムには、産総研の「本格研究」に関する講義の受講と演習、企業現場での実地研修(OJT)などがあります。過去のスクール修了生は企業等で即戦力として活躍できる能力を獲得して、多くが正規就業に成功しています。平成22年度の産総研イノベーションスクールは研修生として20名程度のポスドクの採択を予定しており、書類審査後、面接の上採否を決定します。なお、採用者の身分は、産総研特別研究員(第一号契約職員)となり、平成22年度末まで雇われます。産総研での研究、「本格研究」の講義と演習、企業OJTに積極的に取り組んでいただける方の応募をお待ちします。

応募締切 平成22年5月17日必着

詳細はこちら

<http://unit.aist.go.jp/inn-s/ci/employment/index.html>

## お知らせ

四国センターの入構手続きが変更になりました。

事前に準備いただけるとスムーズにご入構いただけます。

詳細はこちら

[http://unit.aist.go.jp/shikoku/floor\\_guide/nyukou.html](http://unit.aist.go.jp/shikoku/floor_guide/nyukou.html)

## Aist Today 産総研公式HP//出版物

産総研TODAY Vol.10 No.5 掲載

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/aistinfo/aist\\_today/vol10\\_05/vol10\\_05\\_main.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/aistinfo/aist_today/vol10_05/vol10_05_main.html)



特集 産総研第3期中期計画策定

～21世紀型課題の解決、オープンイノベーションハブ機能の強化～

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/aistinfo/aist\\_today/vol10\\_05/special/p02.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/aistinfo/aist_today/vol10_05/special/p02.html)